

おやすみなさいコッコさん

片山健 作・絵



福音館書店 1988年 743円

夜になりました。空の雲も、池の魚も、みんな眠っています。起きているのは、おつきさまとコッコさんだけです。コッコさんは、「おやすみなさい」とおつきさまに呼びかけられるたび、「コッコはねむらないもん」と答えるのですが…。ちいさな女の子、コッコさんが眠りに落ちるまでのひとときを、おつきさまとのやりとりで描きます。シリーズは「コッコさんのともだち」などがあります。

おやすみなさいのほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン 文

ジャン・シャロー 絵

いしいももこ 訳

福音館書店 1962年 1000円



夜になり、家々にあかりがともるころ、なにもかもみな眠りにつきます。ことり、魚、森の動物たち、それから、船や自動車まで。いきものたちが目をつぶり、眠りにつくさまを、見開きごとにひとつずつ描いています。くり返される言葉のリズムに安らぎを感じる、おやすみ前の1冊にふさわしい絵本です。

おんなじおんなじ

多田ヒロシ 著



こぐま社 1968年 1000円

こぶたのふうとこうさぎのびよんは、くつも、ぼうしも、持っているおもちゃもおんなじなら、こさえたんこぶまでそっくりおんなじです。だけど、ふたりが逆立ちしたとき、それぞれのポケットから転がりてきたものは…？ リズム感のある文章にあわせて、次々と出てくる「おんなじもの」の絵が、子どもたちをわくわくさせます。